

マップ作成の背景と公表の目的

近年の大地震では、谷や沢、傾斜地を大規模に埋めた造成地(大規模盛土造成地)で、滑動崩落(下記イラスト参照)という現象が起き、宅地や道路などに大きな被害が生じています。

この滑動崩落の未然防止や被害軽減のために、調査の方法を示したガイドライン*を国が策定しています。

このマップは、福岡市がガイドラインに基づいて実施した調査の結果であり、大規模盛土造成地の概ねの位置や範囲を示すものです。**(全て地震時に危険というわけではありません。)**

お住まいの近くの大規模盛土造成地を確認していただき、防災情報の一つとしてご活用ください。

※ガイドライン:国土交通省『大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説』

大規模盛土造成地および滑動崩落とは？

大規模盛土造成地には下記の2種類があり、いずれも、地震時に、盛土が動いたり崩れたりする可能性がある造成地です。

(1)谷埋め型

谷や沢を埋めた、盛土面積が3,000㎡以上の盛土。



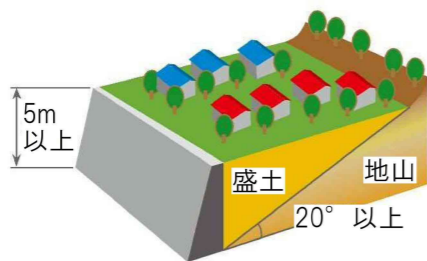
滑動崩落

地震時に、盛土全体又は一部が斜面下部方向へ移動することです。



(2)腹付け型

傾斜地に盛土した、造成前の地盤の傾斜が20度以上かつ盛土高さが5m以上の盛土。



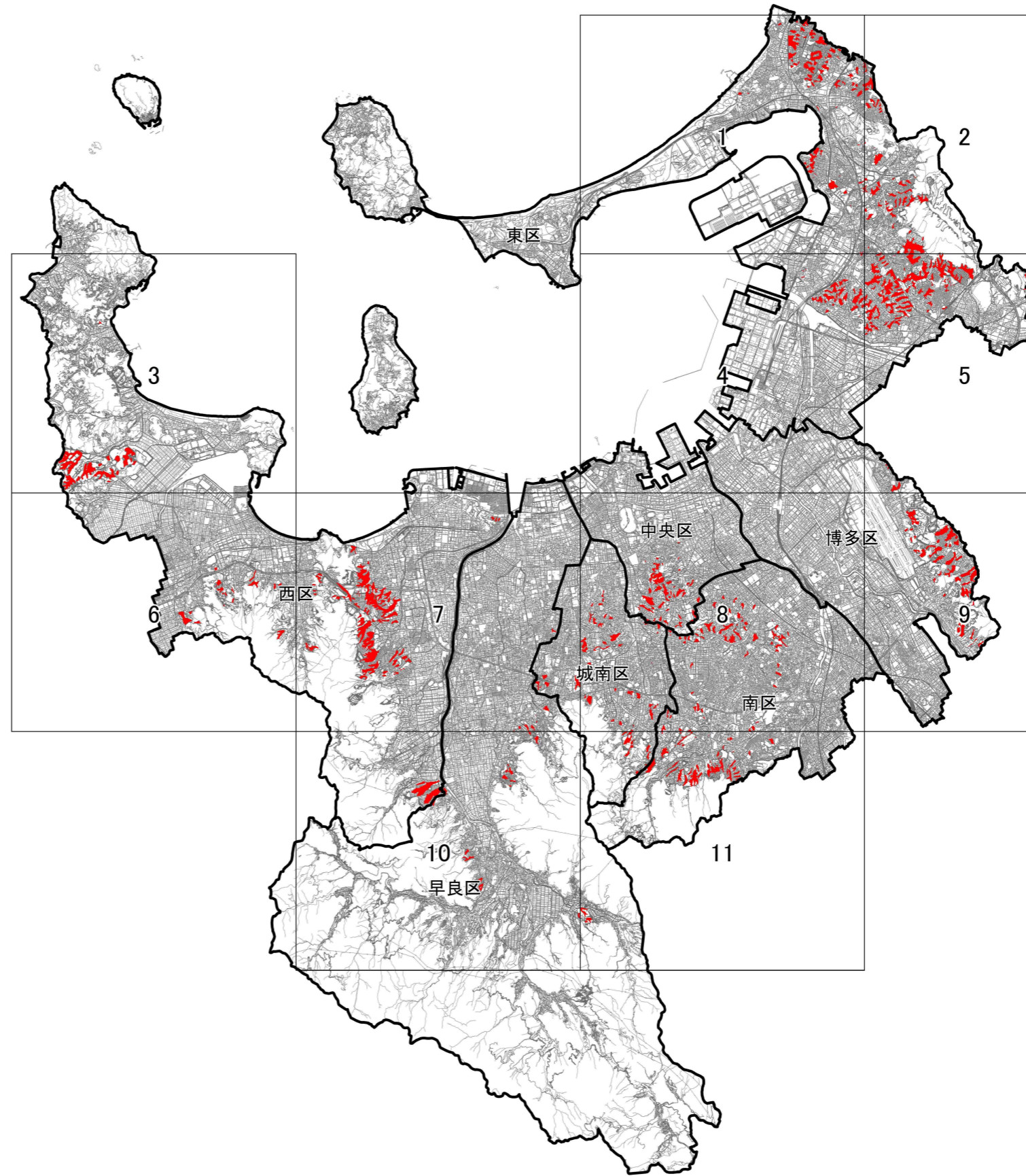
(画像はいずれもガイドライン)

このマップの問合せ先と、宅地防災に関するホームページ

▼このマップの問合せ先
住宅都市局建築指導部開発・建築調整課 〒810-8682 福岡市中央区天神1-8-1
電話番号(1):092-711-4587(東区、博多区、中央区及び南区担当:開発指導第1係)
電話番号(2):092-711-4588(城南区、早良区及び西区担当:開発指導第2係)
FAX番号:092-733-5584、電子メール:kaihatsu-kenchiku.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

▼宅地防災に関するホームページ
福岡市 https://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/machinami/life/Large-scale_Reclaimed_Land.html

国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/toshi/web/index.html>



全体図

- 拡大図の図郭
- 大規模盛土造成地

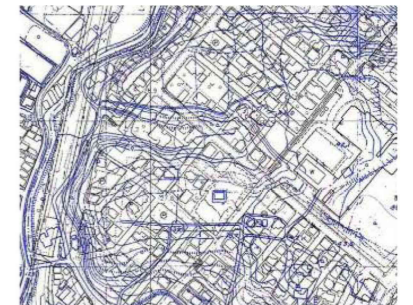
注)ガイドラインにもとづき、埋立地や平坦地等の住宅市街地は調査対象としていません。

このマップの作成方法

A. 造成前の標高(等高線)を、古地図等から再現(昭和23年の米軍写真や昭和34~44年の地形図を利用)

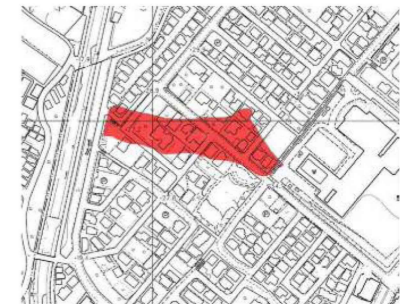


B. Aを現在の標高と重ね合わせ、切土か盛土かを判定
・切土は、前標高>現標高
・盛土は、前標高<現標高



注)現在の標高は、5m間隔で公表されている国土地理院の数値標高モデルを活用(平成22年~平成29年の数値標高モデルを利用)

C. Bの判定による盛土のうち、面積や高さ等の定義に該当するものを大規模盛土造成地として抽出



(画像はいずれもガイドライン)

